

保護者の皆様
関係各位

中野区立鷺宮小学校
校長 武智 直貴

令和2年度「学校教育に関する保護者アンケート」の結果について

早春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、1月には「令和2年度 中野区 学校教育に関するアンケート調査」にご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、配布数（家庭数）265通、提出数257通の回答をいただきました。ご協力に感謝し、ここに【別紙】集計結果とともに、次年度の教育計画についてご報告申し上げます。

【調査結果の概要】 アンケート回収率 97.0%（昨年度 91.0%）

毎年、「①十分」「②まあ十分」と回答していただいた数を合わせたものを「プラス評価」として、昨年と比較して分析をしています。昨年度より、中野区がマークシートによる集計システムを導入し、新しい回答用紙でお願いしていますが、別紙として本校の教育活動取組資料（下記参照）を添え、学校の取組紹介も兼ねて実施させていただきました。コロナ禍の今年度は、当初の計画通りにできなかったことも多かったのですが、そのような中でも皆様から多くの項目でプラス評価をいただき、大変ありがたく思っております。以下に、各設問結果の分析及び次年度の対応についてご説明申し上げます。

2	<p>学校は、特色ある教育活動を推進している。</p> <p>◎「音読活動(常時)・作詩コンクール(実施予定)」「クリーングリーン活動」「体力向上月間」「ノーテレビ・ノーゲーム運動(保健委員会ブルーライト軍団をやっつける)」「学校動物飼育活動を通した心の教育の推進」</p>
---	---

全28項目のうち22の項目について80point以上のプラス評価をいただきました（昨年度より4項目増）。そのうち18項目は、昨年度よりもさらにプラスの評価をいただきました。

1	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	96.9% (+2.7)
3	学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	82.5% (+9.2)
5	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	91.1% (+1.8)
6	学校は、児童の興味・関心や意欲を引き出す授業の工夫をしている。	87.2% (+6.5)
7	学校は、児童に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。	87.9% (+6.4)
8	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	87.9% (+1.9)
10	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	87.2% (+5.3)
11	学校は、児童に自他の生命を大切にすることを育てている。	81.7% (+3.1)
12	学校は、児童に社会のルールを守る態度を育てている。	87.5% (+2.3)
13	学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	88.3% (+10.1)
14	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	80.2% (+6.5)
16	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	89.1% (+0.2)
17	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	86.0% (+3.3)
18	学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。	85.2% (+1.2)
19	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	90.7% (+3.0)
20	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	96.5% (+1.0)
21	学校は、一人ひとりの児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。	89.5% (+2.7)
23	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	89.1% (+1.9)

コロナ禍の特別な年でありながら、本校の教職員の日頃の基本的な姿勢を高く評価していただいたものと、大変嬉しく思います。特に、「3」「13」の項目は10ポイント前後上昇しました。次年度も更にご理解いただけるよう努めて参りたいと思います。

また、上記の「1」「5」「19」「20」の項目に加え、昨年よりもポイントは落としているものの、「15」の項目についても、90 point 以上のプラス評価をいただきました。今年はどうしても保護者や地域の皆様を例年のように学校にお呼びすることができなかつたので、仕方なかつたところでもあります。

15	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	90.3% (-3.1)
----	------------------------------	--------------

逆に、プラス評価が70 point に届かなかつた項目は、以下の5つです。

22	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明を行っている。	58.4% (-4.6)
25	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。	61.1% (-2.3)
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、児童の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	61.5% (-3.0)
27	学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	61.1% (+2.3)
28	学校は、幼稚園児童・保育園児との交流などを通して、児童に小学生になった自覚をもたせている。	63.0% (-7.7)

いずれも、もともと低いポイントだつたところですが、さらに落とした結果となりました。他の項目と比べて、「⑤分からない」が多く選ばれている設問でもあります。今年は小中の連携もこれまでのようにはできず、幼稚園・保育園との交流もできていません。また、特別支援教育や発達障害等の説明も、例年は全体の保護者会で時間をとって行つていたところですが、それも実施できませんでした。今後は、コロナの状況が続いても方法を工夫して、これらのことについて実践していけるよう努めたいと思います。

「2 学校は、特色ある教育活動を推進している。」「4 学校は、地域の環境や人材を教育活動に生かしている。」の項目は、「15」同様、コロナ禍により、例年行つていたことの多くができなかつた部分です。特に本校は特色と呼べる「音読」や「鷲寺・夏寺」といった地域・保護者の皆様のご協力により続けていた取組ができなかつたことが、今年大きく悔やまれるところです。「24 学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。」の項目も、今年度は学校公開ができていないので致し方ないところですが、月に2度の土曜授業を子どもたちも教員もがんばつたことは評価いただけているように感じています。

環境学習に関する取組は、昨年度同様こども環境情報誌「エコチル」を配布し環境問題の興味・関心を高めている他、クリーングリーン活動や「なかのエコチャレンジ」への取組(全児童)なども行い、4年生は社会科の学習と関連させながら、今年もゲストティーチャーをお呼びしてゴミや水道の学習を実施しました。また、今年度より全学年で給食の牛乳パックの処理がリサイクルとなつたことで、体験的にも充実していたかも知れません。昨年大きく落としていた「9」の項目は、今年大きく取り戻すことができました。

今年は、音読活動にご支援いただいている「しらさぎ音読の会」の方々(地域の「ことぶき・さぎのみや」の皆さん)に学校にお越しいただくことは、コロナ感染防止の観点からご遠慮させていただきました。各学年学級が、できる範囲で音読集に触れる活動は進めていりましたが、結局コロナが収束することはなかつたため、「しらさぎ音読の会」は再開できませんでした。そこで、今年度は年度末には「校内作詩コンクール」を企画し、評価の部分で「しらさぎ音読の会」の皆様にご協力をいただきました。急な企画だったにもかかわらず、多くの方々にご協力いただき、心より感謝しています。

今年度、本校の校内研究は、研究主題を「積極的なICTの活用による新しい学びの追究」とし、ICT活用の視点から新学習指導要領に対応した学びを目指す取組を進めてきました。現在は各校に40台配当されているタブレット型PCですが、本校にはさらに40台配当され、一人1台に近い学びを区内の他

校よりは実践できたと思っています。プログラミング教育や情報モラル指導も積極的に進め、高学年は Google Classroom も活用するなど、来年度よりいよいよスタートする GIGA スクール（タブレット端末一人1台の配当、クラウドを活用した学習）に向け、よい下準備ができました。中野区からも近々詳細な説明があるかと思いますが、4月からは子どもたちが毎日タブレット端末（iPad）を持って登下校するようになります。家庭での充電をお願いすると共に、家庭学習でも活用できるように、ご家庭に Wi-Fi 環境が整っていない場合は、整備にご協力いただけるとありがたいと思います。来年度令和4年1月28日には、研究発表を予定しています。

コロナ禍ではありましたが、例年とは違う形（分散開催、分散参観）で運動会、作品展、書き初め展、保護者会等を行わせていただきました。子どもたちも全校で顔を合わせる機会が持てなかった一年でしたので、保護者の皆様にも様々ご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力をいただきましたこと、この場をお借りして、あらためて御礼申し上げます。「運動会」については、シンプルだけどテンポ良く、従来の形の良いところをできるだけ残して実施できたところを、皆様のアンケートからたくさん高く評価していただきました。お弁当なしの開催は、各ご家庭にとって助かるのだということもよく分かりましたので、今後の開催に生かしていきたいと思います。「作品展」では、前回好評でした子ども学芸員の取組を、今年度は予め録画した動画で案内するようにしましたが、声が小さかったため会場では聞きづらく、工夫の余地が大いにあるとの反省をいたしました。参観時間を限らせていただきましたが、快くご協力いただき、重ねて感謝を申し上げます。

令和2年度は、鷺宮小の開校140周年でした。記念式典について、活動を大きく制限された今年度の実施を見送り、来年度に延期させていただいたことは、以前お知らせした通りです。今年度は、①140周年記念キャラクターの決定、②航空記念写真の撮影（クリアファイルの配布）、③リモートによる開校記念集会（3月9日開校記念日に実施）、④令和3年度版記念カレンダーの作成（3月23日配布予定）、を行いました。また、本校の歴史に関わる記念の物を正面玄関に少しずつですが展示を始めています。来年度、記念式典は、令和3年11月20日（土）に開催することが決まりました。コロナ対応は続くと思いますが、今年度の様々な経験を生かして、その時にできることを工夫して準備を進めていこうと思います。引き続きのご支援をよろしく願いいたします。

教員の「働き方改革」への対応の1つとして、各校に電話メッセージ機能が追加されました。本校ではこれまでも各ご家庭に夕刻以降の電話連絡にご配慮いただいていたところですが、今後は、終業後や土、日、祝日にお電話をいただいた際、施設管理員が対応するか、メッセージが流れることがありますので、ご了承ください。

【自由記述より】

○授業参観を行ってほしい

今年度は、例年のような土曜授業公開が行えませんでした。思えば10月頃が一番感染者数が少ない状況だったことから、中野区からは10月に分散型の授業参観であれば実施可という通知が出されたのですが、本校は10月に運動会、道徳授業地区公開講座、保護者会、作品展と、大きな行事をもともと計画していたことから、授業参観を11月以降に行おうと先送りしていました。ところが11月に入ってコロナの感染状況が悪化して再び公開中止の指示が出され、授業参観の企画が頓挫してしまっておりました。保護者の皆様からは、本アンケートにおいて、「リモートでも良いのでぜひ実施してほしい」とのご意見を多数いただきました。リモートによる公開は、一部他校では実施されていますが、インターネットを利用することから「慎重に行ってほしい」とのご意見もあり、できれば実際にお越しいただく形で行いたいと思っていたのですが、1月に入り再び緊急事態宣言が出されてしまったため、リモートによる公開を決め、1月30日に1年生、2月20日に3・4年生、2月27日に4・5・6年生の授業を、1時間ずつですが公開いたしました。画面が固まったり、画質が悪かったり、音声がかえにくかったり…と、ご不便をおかけしたと思いますが、今年度はこれが精一杯だったとご理解ください。来年度もコロナの状況は続きますが、中野区の指示に従いつつも、できる方法を考え、今年度よりも公開できるよう努めます。

○算数少人数指導について

東京都では産休代替教員が不足し、各校で教員の補充に苦慮しています。教員の多忙さばかりが報じられ、目指す人材そのものも減少しており、教員不足は深刻な状況です。本校も、残念ながら10月後半以来良い人材に巡り会えず、3～6年生の算数少人数担当の教員を別の役に回して対応していました。算数の学力低下を心配される声があり、大変申し訳なく思っております。学校としては、毎週実施している朝学習の時間には、算数の基礎・基本の定着をいっそう図り、努力して参りました。4月からは補充できた形でスタートいたしますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

○コロナ対策について

6月学校再開以来、「マスク」「手洗い」「3密回避」が合い言葉になり、今でも感染防止には余念がありません。一部に学校や子どもたちの対応の緩みを危惧する声もありますが、そのようなことはなく、何よりも最優先で考え、取り組んでおりますので、どうぞご理解ください。今年度はその一環として、子供たちの清掃活動を停止していますが、10月の保護者会の際に「教室・階段が汚かった」とのご意見をいただき、その後特に汚れが目立ったところは用務業務職員の協力も得て、教員による日常の清掃に加えて、あらためて対応をするようにしています。なお、「コロナ対応の特別な年だったのに、例年と同じ設問のアンケートで良かったのか」とのご意見もいただきましたが、このことについては中野区の考えは、「敢えて同じ設問で実施し、どの点について影響があったかを明らかにしたいため」ということでした。休校期間中、「ホームページのみの対応の期間が長かったので、もう少し先生とのつながりを感じられる対応が欲しかった」とのお声もいただきました。私たちも出勤日を縮小するなど、初めての対応に混乱し、その間子どもたちへの指導を上手く進められず申し訳ありませんでした。もし、また休校…というようなことが起こった際には、前回よりも良い対応をできるよう努めます。

○その他…

- ・個人面談は2回行ってほしかった…というご意見をいただきました。今年は7月に保護者会を1学年ずつ体育館で実施し、10月には各学級で通常通りの保護者会を、12月に個人面談、2月に体育館で短時間の学年別保護者会を時差開催いたしました。その他、引き渡し訓練、運動会、道徳授業地区公開講座(希望制)、作品展、書き初め展について、保護者の皆様に学校にお越しいただく機会をもたせていただきました。コロナ禍で保護者の皆様に学校にあまりお呼びだてできないとの考えから、このような対応をとらせていただいたわけですが、各ご家庭との連携という意味では、当然例年に比べて不足した年となってしまいました。そのような中でも、皆様には様々多大なご協力をいただき、大変ありがたく思っております。コロナ2年目の来年度は、皆様と今年以上の連携が取れるよう努めます。
- ・引き渡し訓練の意義について、例年行っている「大地震の警戒宣言発令」を想定した引き渡しは、実際的ではないのでは…とのご指摘をいただき、確かにそうだと感じています。災害時にお迎えに来ていただく場面というのは十分考えられるのですが、交通機関が止まってしまうと、なかなかお迎えに来られない場合もあり、実際には長い時間学校でお預かりすることになります。訓練では、限られた時間に可能な方にお越しいただくようになり、お迎えのなかった児童は、同方面でまとまって教員が家の近くまで送る方法をとっています。次年度からは不審者等の出現で、集団下校でも安全確保が難しいような状況を想定して実施することを考えたいと思います。もちろんあくまでも簡易的な訓練ですが、この経験が様々な引き取り場面にも生かせるようにしたいと思います。
- ・第八中学校が今年度で閉校し、4月からは現第四中学校の場所で統合新校「明和中学校」として開校します。オーブンキャンパスでは、6年生が閉校する第八中に行ったのですが、この行事は第1回と第2回については中学校体験として行い、第3回は実際の進学先の説明を受けるという設定としています。来年度は、本校は連携校である明和中と、明和中新校舎が完成するまで一部の児童が進学可能となった北中野中とも連携しながら進めてまいります。
- ・学校入口の門の管理や、自転車の止め方、スクールゾーンの車両の通行など、防犯、交通安全等を心配するご意見もありました。学校にお越しいただく際は、駐輪の仕方にご留意いただきますようお願いいたします。防犯カメラが東門(体育館側)に新しく設置され、これまでの正門、西門(給食室側)のカメラも新しいものになりました。正門の電気錠も新しい物に更新され、防犯の環境が向上しました。

○次のようによい評価のご意見もいただきました。

- ・驚小の子は優しい子が多い。 ・コロナ禍でも最大限工夫して取り組んでくれている。
- ・子どもの笑顔が消えずに過ごせている。 ・いつもメールやHPで発信していただきありがたい。

今年度の本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと、ここにあらためて感謝申し上げます。来年度もお力添えをいただきますよう、よろしく願い申し上げます。